

INDINI 4

インテリアスリム収納 [インディニ4] 取扱説明書

必ずお読みください



南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

- ご使用になる前に必ずこの「取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず取扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※)を負うことが想定される危害・損害の程度を示す。
(※)傷害とは、治療入院や長期の通院を要さない、ケガなどをさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



● **製品にのったり、ぶら下がったりしない。**

引戸や棚板、カウンターなどにのったり、ぶらさがったりしないでください。破損・落下・転倒してケガをするおそれがあります。



● **扉やすき間に指を入れない。**

引戸のすき間に手や指を入れないでください。引戸の開閉時に手や指をはさんでケガをするおそれがあります。特に小さなお子様のいらっしゃるご家庭では、引戸のすき間に手や指がはさまれる可能性がありますので十分ご注意ください。



● **引戸に強い衝撃を与えない。**

引戸に物をぶつかけたり、ぶつかったりなど、強い衝撃を与えないでください。引戸の破損による事故やケガのおそれがあります。



● **引戸の開閉はゆっくり行なう。**

引戸の開閉は静かに行なってください。引戸が破損したり脱落してケガをするおそれがあります。また勢いよく開閉した場合、指や手、体の一部などをはさんで激しく当たりケガをするおそれがあります。開閉に際しては十分に注意してゆっくり行なってください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



● **耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。**

重置物をのせると棚板が変形・破損・落下し、ケガをするおそれがあります。(裏面「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



● **粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)は貼らない。**

製品に粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等)を貼らないでください。表面化粧がはがれるおそれがあります。



● **製品に直接水をかけない。**

製品に直接水をかけないでください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。



● **鍋や食器類などを濡れた状態や熱いままですでに収納しない。**

鍋や食器類などを濡れた状態や熱いままですでに収納しないでください。表面化粧のはがれや反りの原因となります。必ずよく乾燥させてから収納してください。



● **極端な温度差、湿度差はさける。**

温度差・湿度差は極端にならないようにしてください。



● **油やインクの付着に注意する。**

水・油・インク・薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因となります。

お手入れ



● **日常のお手入れ方法**

乾いた柔らかい布で乾拭きする。

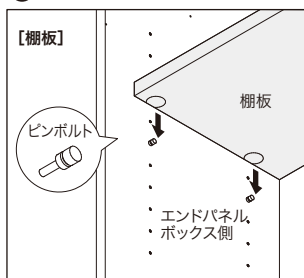
● **汚れがひどい場合**

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、よく乾燥させる。

※シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

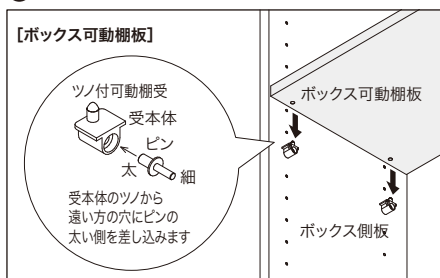
棚板の位置を変える場合

① オープン収納パーツの棚板



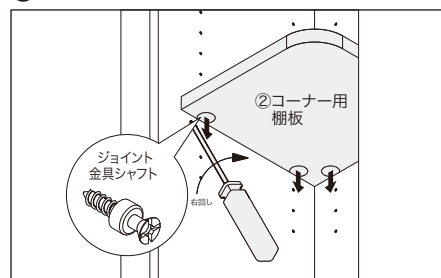
ピンボルトを取り付けたい高さのダボ穴に4カ所取り付けした後、棚板を差し込みます。

② ボックス内の棚板



ツノ付可動棚受けを取り付けたい高さのダボ穴に4カ所取り付けした後、棚板を差し込みます。

③ コーナーラック



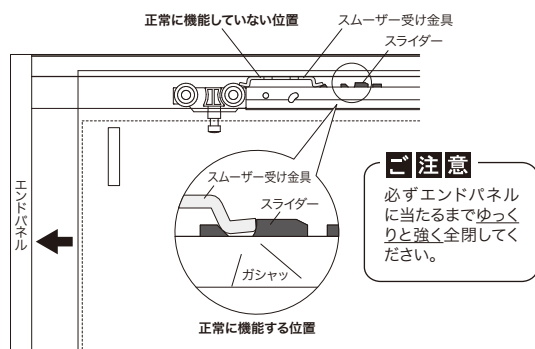
ジョイント金具シャフトを取り付けたい高さのダボ穴に4カ所取り付けした後、コーナー用棚板を上から差し込み、下側からドライバーにて右回して締めて固定します。

【棚受の種類】	ピンボルト	ツノ付可動棚受	ジョイント金具シャフト
	←十字溝なし		←十字溝あり
	①を設置する 場合に使用します。	②を設置する 場合に使用します。	③を設置する 場合に使用します。

スューザーの自動復帰について ※スューザーが正常に動作しない場合のみ

① 引戸を全閉

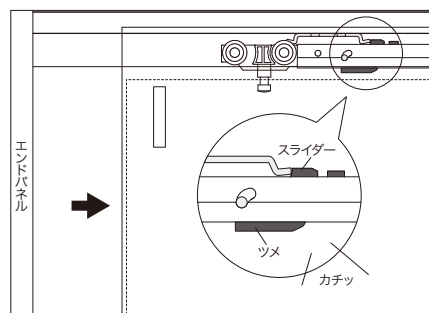
引戸を左右両側に動かし、全閉してください。
左右どちらかが10mm程手前で一度引戸が止まりますので最後まで閉め切ってください。
スライダーがスューザー受け金具を乗り越えるとガシャツと音がします。



② 引戸を開く

スューザー受け金具が見えるまで引戸を開いてください。
正常に自動復帰するとカチツと音がし、吊車(スューザー有)下側にツメが出てきます。

注意
開閉はゆっくりと行ない、スューザー自動復帰後は無理に押し込んだり、引っ張ったりしないでください。動作不良の原因となります。

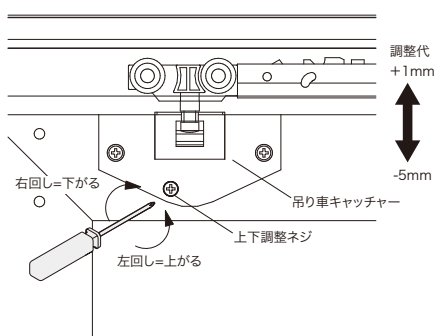


③ スューザー自動復帰の確認

引戸をスライドさせてスューザーが正しく動作しているか確認してください。
スューザーが正常に動作するまで、上記①・②を繰り返してください。

引戸の高さ調整について

吊車キャッチャーの上下調整ネジを左右に回して引戸の高さ調整をします。



耐荷重の目安値

下記は耐荷重の目安値であり、保証値ではありません。

パーツ	耐荷重の目安値	
ボックス	棚板	10kg
	ボックス全体	60kg
オープンパーツ	棚板	15kg
	底板	
コーナーラック	コーナー用棚板	5kg
	コーナー用底板	